

オオバわくわくフェス 2025 レポ ～準備日編～

2月9日(日) 準備1回目

実行委員に応募してきてくれた小学生たちと、大学生スタッフ、一心会スタッフが初めて顔を合わせる日が来ました！緊張もするけれど、ここからどんなお祭りが出来上がっていくのか、わくわくがとまりません！

★まずはゲームでなかよくなろう!!★

これから一緒に企画を考えて進めていく仲間たち。同じ町に住んでいても、初めましての人もあります。大人も子どもも打ち解けられるように、ゲームを楽しみました。



★いよいよ企画会議スタート!★

①どんなお祭りにしたいかな？

大学生スタッフからフェスの説明を受けて、いざ作戦会議のスタートです。開いてみたい出店やワークショップのアイデアをどんどん出していき、みんなのアイデアから自分が一番取り組みたいものを選びます。



②ブースが決定!

子ども実行委員たちは希望するブースを発表。希望が同じだったり似ている内容の委員同士でグループになり、全部で6つのブースができました!



③ブースで作戦会議!

どんなブースにしたら良いか意見を出し合い、用意するものや遊び方のルールなどを決めていきます。



④ブースごとに発表!

話し合いで決まったことをみんなの前で説明しました。他のブースの発表も聞いてフェス全体への期待も膨らみます!



★準備1回目終了★

子ども実行委員たちから面白そうなブースのアイデアがたくさん出て、早く準備に取りかかりたい気持ちでいっぱいになったところで1回目の準備日は終了!

2月16日(日) 準備2回目

さあ、本格的な準備が始まります！やる気と集中力を大に発揮して、みんなで良いブースづくりを目指します。考えて、切ったり貼ったり書いたり丸めたりしたら、また考えて…。忙しい一日になりそう！

★ゲームとミーティング★

前回同様ゲームで和んでから、ブースごとに真剣な話し合いがスタート。今日の準備の進め方を確認します。



クレーンゲーム

段ボールのクレーンゲーム機を作ります。どうやらゲーム機の穴には子ども実行委員の腕が通るみたい…？何気なく置かれたおたまの存在も気になります。

ブースづくりスタート!!

射的

西部劇をイメージした的や背景、わりばし銃をどんどん作っていきます。たくさんのお客さんに楽しんでもらいたいから、命中した時の景品もわかりやすくしました。



リアルロボット フェンシング

ロボットがフェンシング?! どうやって遊ぶの?!と疑問だらけのスタート。でも大量のロボット作りとフェンシングの試行でいつのまにか大盛り上がり！



「ひとみしいコピー」工作体験

試作コピーを見ながら、どんなパーツを用意するか考えます。お客さんに自分だけのコピーを作ってもらえるように、いろいろなパーツを作りました。委員も大学生スタッフも職人の顔になっていました。



ミサंगा作り体験

糸やビーズなどの材料の山を見て、委員たちの目がキラキラに☆早速お客さんに作ってもらうミサंगाの試作をします。高学年の委員さんは「OOBATYOU」の文字が入ったミサंगाを作ってくれました。地元愛に泣ける…。



ぎょうざアニマルや

ふしぎなキャラクター「ぎょうざアニマル」。フェルトを使って、餃子を包む時のように作ることから名前が付けました。フェス当日までにたくさん品物を作るぞ！と意気込みます。



★準備2回目終了★

そこかしこに色とりどりの材料と道具が散らばり、子ども実行委員たちと大学生スタッフの話し声、作業をする音で活気にあふれた一心会館でした。各ブースの看板も出来上がって、本番の飾りつけが楽しみです！お友達に配るチラシをもらって2回目は終了！

オオバわくわくフェス 2025 レポ ～当日編①～

2月23日(日)

当日準備◆がんばるぞ!!

ついにやって来ましたフェス当日！開場の前に委員とスタッフは、会場の設営やそれぞれのブースの準備、接客のシミュレーションをします。準備中、下見に来てくれたお客さんもいて期待が高まります！「お客さん来るかな？混んじゃったらどうしよう？楽しく遊んでもらえるかな？」と気をもむ委員たちのドキドキが聞こえてきそう。委員は当番制なので、「早く自分も遊びたい！」とブースを見回る委員も。開場の13時になるまで何度も時計を確認してしまいます。

13:00◆開場!!

お客さんはスタンプラリーのカード（1枚100円）を受付で購入して遊びます。さあ、第1号の小さなお客さんが来てくれました！入口近くのミサンガやを覗いています。「早くこっちのブースにも来ないかな」と見つめる委員たち。そうこうしているうちに受付も会場内もお客さんでいっぱいです。

ミサンガの委員たちは次から次へと並んでくれるお客さんの対応に大わらわ。まず糸を選んでもらって、次にビーズを選んでもらって、最後は袋に入れて…。一連の流れもいつのまにか板について、チームワークが出来上がっています。体験コーナーには、完成したミサンガに嬉しそうに腕を通す子どもたちや、必死に三つ編みするパパさんの姿もありました。

射的はもちろん大人気！大人も子どもも真剣に狙いを定めて引き金を引きます。委員たちとスタッフは、受付係、弾込め係、判定係としっかり役割分担をして働きます。お客さんに打ち方のコツを伝授するガンマン委員もいました！銃の暴発や乱射などのハプニングも楽しみのうち。笑いとお声の絶えないコーナーになりました！

アルロボットフェンシングからは、ペットボトルのロボットによるトントン相撲が始まると、「ドンドンドン！」と大きな音が聞こえてきます。お客さんも何事かと振り返って見て、「次はあれで遊ぼう！」と立ち寄っていました。委員とスタッフはバトルのしすぎで翌日の筋肉痛確定です。



オオバわくわくフェス 2025 レポ ～当日編②～



クレーンゲームはたくさんのお菓子をゲットできる目玉ブースです！お客さんはお目当てのお菓子とラッキーコインを狙ってクレーンの動きを指示します。委員によるクレーン（おたまを持った手）はちょっとお客さんに甘かったよね…？委員たちの明るさと優しさがあふれるクレーンゲームでした。

ぎょうざアニマルは今回のフェスで唯一のお店屋さん。委員たちが頑張って作ったぎょうざアニマルとフェルトマスコットが可愛らしく並びます。お客さんはどんな顔のマスコットがいるかよく吟味して選んでいました。用意した品物は完売！町内でかばんからマスコットを下げた人を見かけるかも？！

コピー作りブースに設置された長机には、工作をするお客さんが隙間なく並び、パーツの中からお気に入りのものを選んでオリジナルコピーを作っていました。委員やスタッフは丁寧にお客さんに作り方を説明したり、コンテストの写真を撮ったり、微笑ましいやり取りが見られました。

◆◆◆ コピーコンテスト受賞作品発表!! ◆◆◆

グランプリ◆はるかちゃん作

カールした髪と唇が、見る人を振り返らせるおしゃれなコピー♡



おもしろ賞◆はるとくん作

摩訶不思議な雰囲気を漂わせ、今にも動き出しそう…。



総勢 30 名の方がエントリーしてくれました！みなさん、素晴らしい作品をありがとう！

16:00◆閉場!!

初開催のオオバわくわくフェスは大盛況でした！小さいお子さんから地域のお年寄りまで多くの方が遊びに来てくださり、スタンプラリーのカードは100枚近い売り上げになりました。また来年も遊びに来てくださいね！

お片付け◆お疲れさまでした!!

頑張って準備したブースを片付けるのはさみしいけれど、会場をきれいにします。作ったものや飾りを記念にもらって帰る委員も大勢いました。一生懸命準備したこと、当日頑張って働いたこと、いっぱい遊んだこと、新しいお友達や大学生のお兄さんお姉さん、地域の人と過ごした時間が良い思い出となったオオバわくわくフェスでした。

